

新鹿小・中学校に 太陽光発電設備を導入しました

市では「三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業を」を活用して、平成 28 年度に新鹿小・中学校に太陽光発電設備を導入しました。

太陽光発電設備によって、南海トラフを震源とした巨大地震の発生や大型台風の襲来による停電時でも、避難所となる体育館や会議室、職員室で必要となる最低限の電源を確保することができます。同時に、当該施設の電力使用による二酸化炭素（CO₂）排出量の削減も期待できます。

平成 27 年度に災害対策本部（市役所庁舎）、木本中学校にも太陽光発電設備を導入しています。



太陽電池モジュール 15kWh 1基



リチウムイオン蓄電池 20kWh 1基